

一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	在宅当番医制事業			事業コード	0336
担当課等	所属名	市保健所 企画総務課	担当係名		
	課長名	市保健所 企画総務課	担当者名	宮野 直子	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	いきいきとして安心できる暮らし	コード 1	施策	地域をリードする医療体制の確立	コード 2
	基本事業	医療機関との連携強化	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 4款 3項 2目 在宅当番医制事業(005-02)	
	特記事項	総合計画主要事業				
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒(開始年度 昭和40年度~)		
事務事業の概要	休日の日中における、医科と歯科の初期救急医療を当番医の医療機関で実施する。					
根拠法令等	盛岡市在宅当番・救急医療情報提供実施事業業務委託仕様書、盛岡市歯科在宅当番医制事業業務委託仕様書					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
休日等における救急患者の増加に伴い、市民から制度導入の要望があり、関係機関と対策を協議し昭和40年度に事業を開始した。昭和50年代になり、国が救急医療対策実施事業を実施したことに合わせ、本格的に実施した。また、歯科については、県が国のモデル事業として平成11年度から3年間実施し、その後平成14年度から本格実施した。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
市民からは、安心して休日等に受診できる初期救急医療体制の整備を要望されている。具体的には、小児科は当番医が1箇所であることから、インフルエンザが流行する冬期だけでも2箇所にはできないか、という要望がある。議会からは、地域の救急医療の確保を強く要望されている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
小児科では、医師の高齢化等に当番医としての参加が困難になってきている医療機関がある。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	市民	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 市民の数	単位	人
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 休日の日中に盛岡市内で小児科1・内科2・整形外科1・歯科1(玉山区の医療機関の当番日には、盛岡地区でも1箇所当番医を設けることとし、内科北地区又は外科・整形外科各2箇所とする。)を在宅当番医に指定して事業を実施しており、市医師会及び市歯科医師会に業務を委託している。また、診療時間(医科9時~17時、歯科9時~15時)、当番日の周知は、市広報・市医師会ホームページに掲載し行った。  23年度計画(23年度に計画している主な活動)  22年度と同様の事業計画	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 市医師会会員数	単位	人
				B. 市歯科医師会会員数	単位	人
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	市民が休日に初期救急医療を受診することができる。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 在宅当番医制患者数 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input checked="" type="radio"/> 維持する】	単位	人
				B. 歯科在宅当番患者数 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input checked="" type="radio"/> 維持する】	単位	人
				C. 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	受診できる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	市民アンケート調査「かかりつけ医がいる」と答えた市民の割合(単位:%)		




3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 在宅当番医制の充実を図ることは、市民の救急医療に対する不安を解消することであり、地域医療の確保に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 市民の医療に対する不安を解消し、初期、二次、三次の救急医療体制を維持するため、市が初期救急医療を確保する必要がある。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 市民を対象としており現状で妥当である。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 初期救急医療を受診できるという意図には見直す余地はなく、現状で妥当である。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 向上余地がない	理由: 患者数が増加すれば成果が向上したと言えるものではないが、救急医療体制を堅持していくうえでは初期救急の役割として患者者数を維持していく必要がある。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: ますます、二次、三次救急医療機関に軽症患者が集中することとなり、重症救急患者に対する診療への支障や医師の更なる過重負担が顕著となる。その結果、現在確立している盛岡医療圏の初期、二次、三次の救急医療体制の崩壊を招くこととなる。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由: _____
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 平成16年度に見直しを図り事業費の削減を行っている。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 定例的業務処理に係る必要最小限の業務時間数である。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 市民を対象としており、妥当である。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 健康保険法に基づき、定められた自己負担分を支払っている。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること  ②改革, 改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか? それをどう克服していきますか? (関連部門や全庁的な調整の必要性, トップへの要望も含む)
---------	--

5. 課長意見

一次評価	(1)一次評価者としての評価結果 ① 必要性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり : ② 有効性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり : ③ 効率性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり : ④ 公平性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり :	(2)全体総括(振り返り, 反省点) 盛岡市医師会, 盛岡市歯科医師会と連携して事業を実施するとともに, 広報等により当番医の周知回り初期救急医療の提供に努めた。
今後の方向性と改革改善案	(3)今後の事務の方向性(改革改善案) <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	
		
方向付けの理由と改革改善の内容 盛岡医療圏の救急医療体制を堅持するため, 継続して事業を実施していく必要がある。		